



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月13日

上場会社名 HYUGA PRIMARY CARE株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7133 URL <https://www.hyuga-primary.care>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒木 哲史  
問合せ先責任者(役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 大西 智明 TEL 092-558-2120  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	7,272	—	675	—	639	—	394	—
2024年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 394百万円( —%) 2024年3月期第3四半期 ー百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	55.54	53.72
2024年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2024年3月期第3四半期において連結財務諸表を作成していないため、2025年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率並びに2024年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	7,151	2,046	28.6
2024年3月期	6,354	1,643	25.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 2,046百万円 2024年3月期 1,643百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,455	14.1	929	30.9	889	24.1	618	40.2	87.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	7,273,600株	2024年3月期	7,246,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	147,100株	2024年3月期	147,100株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	7,105,269株	2024年3月期3Q	7,117,446株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループの属する医療・介護業界においては、2024年6月（薬価等の改定は2024年4月）に調剤報酬改定、介護報酬改定が行われ、団塊の世代が後期高齢者になる超高齢化社会2025年問題に対応した本格的な在宅医療介護時代が始まっていると言えます。

当社グループは、企業理念である「患者さん（利用者さん）が24時間365日、自宅で「安心」して療養できる社会インフラを創る」を実現するため、在宅訪問薬局事業、きらりプライム事業及びプライマリケアホーム事業の主力3事業を中心に着実な拡大を図り、「プライマリケアのプラットフォーム企業」という目標に向けて尽力しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,272百万円となり、利益面では営業利益が675百万円、経常利益が639百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が394百万円となりました。

なお、当社は2024年3月期末から連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(参考)

2025年3月期第3四半期（連結）及び2024年3月期第3四半期（非連結）におけるセグメントごとの売上高及びセグメント利益又は損失（△）において、単純比較資料を参考資料として掲示いたします。

	在宅訪問薬局事業	きらりプライム事業	プライマリケアホーム事業	その他事業	調整額	合計
売上高						
2025年3月期 第3四半期(連結) (百万円)	5,306	796	1,169	0	—	7,272
2024年3月期 第3四半期(非連結) (百万円)	4,884	619	564	27	—	6,096
対前年同四半期増減率 (%)	8.6	28.5	107.3	△97.7	—	19.3
セグメント利益又は損失(△)						
2025年3月期 第3四半期(連結) (百万円)	490	466	189	△7	△463	675
2024年3月期 第3四半期(非連結) (百万円)	470	360	△39	△5	△319	465
対前年同四半期増減率 (%)	4.2	29.5	—	29.7	44.9	45.1

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (在宅訪問薬局事業)

在宅訪問薬局事業では、前連結会計年度から社員負荷増大のため離職率が増加しておりました。これに対応するため人材採用及び薬剤師負荷軽減のための自動監査システムを導入するなど、労働環境の改善を進め着実に離職率が低減しております。また、生成AIを利用したRPA(※)を報告書作成業務に導入し、並行して株式会社ソラミチシステムが開発販売するクラウド型電子薬歴システム「CARADA 電子薬歴 Solamichi」と当社グループの在宅訪問支援情報システム「ファミケア」を相互連携を進めるなど、さらなる業務負荷軽減と運営効率の向上を目指しております。

当第3四半期連結会計期間末時点における在宅患者数は9,728人（前第3四半期末比3.9%増）と好調に推移しており、店舗の新規出店については、鹿児島県に1店舗、熊本県に1店舗、福岡市に2店舗合計4店舗を開局し、合計51店舗となりました。鹿児島県及び熊本県は県下初出店であり、新たな九州のドミナント拠点となっております。なお、出店した4店舗の出店費用及び人材採用費用が多く発生しておりますが、当第3四半期連結会計期間では過去最高のセグメント利益を更新しました。

以上の結果、売上高は5,306百万円、セグメント利益は490百万円となりました。

(※) RPA：ロボティクス・プロセス・オートメーションの略で、人がパソコン上で日常的に行う業務を同じかたちで自動化するもの

#### (きらりプライム事業)

きらりプライム事業は、中小規模の薬局と提携し、効率的な在宅型薬局の運営ノウハウの提供、人材研修、24時間対応のためのオンコール体制の支援、在宅型薬局特化型の在宅訪問支援情報システム(ファミケア)の貸与及び医薬品購入の支援などのサービスを行っております。

2024年6月の調剤報酬改定により、在宅患者へのサービスにおける加算獲得（連携強化加算及び在宅薬学総合体制加算など）に一定の研修受講が義務付けられたため、当社グループの研修サービスが広く認知され、需要が増加いたしました。このことから、大幅に加盟店が増加した結果、全国47都道府県すべてに当社の加盟店を広げることができました。

これにより、当第3四半期連結会計期間末時点で加盟法人数は824社（前第3四半期末は681社）、加盟店舗数は2,345店舗（前第3四半期末は1,910店舗）となりました。

以上の結果、売上高は796百万円、セグメント利益は466百万円となりました。

#### (プライマリケアホーム事業)

プライマリケアホーム事業では、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを行う住宅型有料老人ホームを運営しております。当事業の特徴は、在宅訪問薬局事業で培った在宅医療ノウハウとネットワークを生かし、要介護度が高く、医療依存度が高い在宅患者に対応できる施設であることです。さらに、介護人材不足の解消及び運営効率を上げ収益性を高めるため、施設を大型化し自社開発したICT及びDXを取り入れております。

1棟目の「プライマリケアホームひゅうが春日ちくし台（定員102名）」は、入居率90%超を継続しております。2棟目の「プライマリケアホームひゅうが博多麦野（定員162名）」は引き続き2025年1月末時点で入居率95%を超え、入居予約者を含めると入居率は100%となっており、入居待機者が発生しております。

2024年12月に「プライマリケアホームひゅうが熊本はません（定員168名）」を開設しました。当社の在宅訪問薬局がないエリアに初めての開設となりましたが、開設から約1か月半で入居者（入居予約者含む）は47名となり、順調な立ち上がりとなりました。

以上の結果、売上高は1,169百万円、セグメント利益は189百万円となりました。

#### (その他事業)

当社グループのその他事業は、ICT事業を含めております。

ICT事業では、入居者の健康状態を自動的に把握するウェアラブルウォッチ以外にも、入居者の離床、座位、臥床を検知するベッドセンサーを開発し、当社グループの介護施設での実装実験を進めながら本格的な販売に向け準備しております。このベッドセンサーは、介護保険適用となるTAISコード及び貸与マークを取得しており、「福祉用具貸与商品」として取り扱うことが可能となり、当社グループの施設で貸与を開始し、プライマリケアホーム事業の福祉用具貸与サービスとして収益を上げております。

また、オムツ内の排泄の有無、量を検知・計測する「排泄見守りセンサー」を追加開発し、高齢者のQOLの向上ならびに排泄ケアにおける介護現場の労務負担軽減を図る取り組みを進めております。

以上の結果、売上高は0百万円、セグメント損失は7百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,955百万円となり、前連結会計年度末に比べ510百万円増加いたしました。これは主に売掛金が273百万円、現金及び預金が152百万円増加したことによるものであります。

固定資産は4,195百万円となり、前連結会計年度末に比べ285百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が201百万円、投資その他の資産が61百万円増加したことによるものであります。

その結果、総資産は7,151百万円となり、前連結会計年度末に比べ796百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,338百万円となり、前連結会計年度末に比べ319百万円増加いたしました。これは主に買掛金が98百万円、短期借入金が200百万円増加したことによるものであります。

固定負債は2,766百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が58百万円減少したものの、長期リース債務が124百万円増加したことによるものであります。

その結果、負債合計は5,105百万円となり、前連結会計年度末に比べ393百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は2,046百万円となり、前連結会計年度末に比べ403百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が394百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月14日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。なお、当該連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	688,010	840,968
売掛金	1,498,284	1,771,805
商品	181,322	254,904
その他	77,304	88,194
流動資産合計	2,444,922	2,955,874
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,613,021	2,606,362
その他（純額）	384,378	592,750
有形固定資産合計	2,997,400	3,199,112
無形固定資産	364,285	387,078
投資その他の資産	548,387	609,411
固定資産合計	3,910,073	4,195,602
資産合計	6,354,996	7,151,476
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	751,779	850,708
短期借入金	200,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	256,935	262,748
未払法人税等	180,707	103,971
賞与引当金	100,672	74,135
その他	529,499	647,246
流動負債合計	2,019,593	2,338,810
固定負債		
長期借入金	2,173,064	2,114,471
資産除去債務	85,674	95,487
その他	433,539	556,352
固定負債合計	2,692,277	2,766,311
負債合計	4,711,871	5,105,121
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	195,382	199,668
資本剰余金	345,392	349,678
利益剰余金	1,402,327	1,796,985
自己株式	△299,978	△299,978
株主資本合計	1,643,125	2,046,354
純資産合計	1,643,125	2,046,354
負債純資産合計	6,354,996	7,151,476

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	7,272,695
売上原価	5,587,454
売上総利益	1,685,240
販売費及び一般管理費	1,009,774
営業利益	675,466
営業外収益	
受取利息	2,596
補助金収入	3,825
その他	167
営業外収益合計	6,588
営業外費用	
支払利息	27,671
シンジケートローン手数料	15,000
その他	56
営業外費用合計	42,727
経常利益	639,327
特別損失	
減損損失	44,990
特別損失合計	44,990
税金等調整前四半期純利益	594,337
法人税等	199,679
四半期純利益	394,657
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	394,657



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	394,657
その他の包括利益	
その他の包括利益合計	—
四半期包括利益	394,657
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	394,657
非支配株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前四半期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	
減価償却費	198,463千円
のれんの償却額	6,815

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 事業 (注3)	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	在宅訪問 薬局事業	きらり プライム 事業	プライマリ ケアホーム 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	5,306,097	796,695	1,169,272	7,272,065	630	7,272,695	—	7,272,695
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,306,097	796,695	1,169,272	7,272,065	630	7,272,695	—	7,272,695
セグメント利益 又は損失(△)	490,011	466,575	189,942	1,146,529	△7,407	1,139,122	△463,656	675,466

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ICT事業であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「在宅訪問薬局事業」セグメントにおいて、減損損失44,990千円を計上しております。